

令和7年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(理事会 幹事会 運営委員会)
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(1) 理事会/幹事会

令和7年度第1回理事会/幹事会 (令和7年4月25日～メール審議)
令和6年度収支決算承認及び総会への付議承認
令和7年度収支予算(案)承認及び総会への付議承認
令和7年度役員交代の件

(2) 理事会

令和7年度第2回理事会 (令和7年12月17日～メール審議)
令和7年度 事業活動中間報告(各委員会状況)
令和7年度 今期着地見込み及び来期計画策定

(3) 運営委員会

令和7年度運営委員会 (令和8年3月9日～メール審議)
令和7年度事業報告
令和7年度収支着地見込み
令和8年度事業計画(案)
令和8年度事業計画(予算案)

(4) 理事会/幹事会

令和7年度第3回理事会/2回幹事会 (令和8年3月23日～メール審議)
MIDI規格委員会 委員長交代の件
令和7年度 各委員会事業報告
令和7年度 収支決算(着地見込)
令和8年度 事業計画(案)
令和8年度 収支予算(案)
第15回通常総会開催の件

令和7年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(専門委員会)
(令和7年4月1日より令和8年3月31日まで)

(1) 製品安全・環境委員会

安全規格部会 (4回) : テーマ : 製品安全規格情報交換
環境問題研究部会 (4回) : テーマ : 製品関連環境情報交換
オンライン+リアル開催

外部委員会出席 (JEITA マルチメディア EMC 専門委員会、JBMA 第108委員会、電気用品調査委員会 電波雑音部会、電気製品認証協議会)

事業報告

両部会による情報収集及び情報提供を通じて、会員各社製品への製品安全及び環境問題対処活動の情報交換を行った。

主な情報交換の要点は次の通り

・ **安全規格**

JBMA 第108委員会 出席報告
日本 電気用品安全法 リコール情報、違反事例
欧州 RED 改訂
欧州電池規則 (11 条)
北米 UL/CSA 62368-1 Ed.4 発行
インド BIS IS 62368-1:2023 発効
シンガポール 新 CPSR ブックレット
インドネシア 規制当局名変更
アルゼンチン S マーク廃止

・ EMC、電波

JEITA マルチメディア EMC 専門委員会報告
日本 総務省 高周波利用設備登録

・ **環境関連**

・ 欧州

電池規則取外し容易化要求関連情報・ラベリング実施規則案、エコデザイン規則消費者用売れ残り製品開示実施規則、エコデザイン指令外部電源装置等実測規則改正、森林破壊防止規則改正、包装及び包装廃棄物規則、欧州各国包装規制改正、RoHS 適用除外改正、PFAS 制限規制案、CBAM 規則改正等

・北米

米国 PFAS 規制改正案、カリフォルニア州包装リサイクル表示規制、カナダプラスチック使用報告規制・同ガイダンス等

・アジア、その他

インドプラスチック・電池・電気電子製品廃棄物管理規制改正、中国 RoHS 改正、中国楽器有害物質制限規格改正、中国塗料中有害物質規制改定、台湾包装材表示規制改正、化審法改正、西オーストラリア州包装材規制、ワシントン条約改正等

(2) MIDI 規格委員会

- MIDI 規格委員会/MIDI 2.0 部会は、Teams を活用したリモート会議を中心に月例で開催、2025/7/18 には Korg 本社で対面での会議を実施。継続的に MIDI 2.0 規格策定および今後の MIDI 普及戦略に関する議論を行った。

事業報告

1 MIDI 規格委員会/MIDI 2.0 部会の活動

- MIDI 2.0 各種規格書の審議、MIDI/MIDI 2.0 プロモーション施策の検討と実施
 - MIDI 2.0 部会 Piano Profile WG において、MIDI Association メンバーと共に Piano Profile 規格を策定、2026/1/20 に MIDI 規格委員会での承認、署名済み
 - E-Drum Profile についても同様に、MIDI Association メンバーと共に規格策定を継続、現在、正式な規格書とするための承認プロセスに進んでいる。
 - Transport and Location Profile についてはレビュー結果を報告済み。
- USB MIDI 2.0 Host Driver for Windows に関して、リリース物の検証を行い、AMEI 内外の連携を通じて品質改善を実施、2026/2/19 に Microsoft から全ての MIDI 2.0 機能が組み込まれた Windows Update がリリースされた。ただし、本 Update には不具合が残っているため、AMEI メンバーでの調査、報告を継続中。

2 規格団体内外との連携・交流

- 2025/7/18 に Korg 社本社にて対面会議を実施し、会議後には若手社員を交えた懇親会を行い、MIDI および MIDI 2.0 の将来について意見交換を行った。
- ドイツ・ベルリンにて開催された DAW WG に現地およびリモートで参加し、AMEI としての要望を DAW メーカー各社に共有した。
- 2025/10/28 にはヤマハ社横浜オフィスにて、MIDI Association との対面ミーティングを実施し、MIDI 2.0 の展開戦略および規格策定状況について議論した。
- ティーフアブワークス社(<https://tfabworks.com/>)からの System Exclusive の利用に関する質問、相談を MIDI 規格委員会として受領。数度の打ち合わせを経て、ティーフアブ

ワークス社に AMEI メンバーに加わっていただき、System Exclusive ID (00H 40H 08H) を正式発行、今後の事業に利用していただけることになった。

3 MIDI 訴求・普及活動

- **MUSIC AWARDS JAPAN 2025 (2025/5/21)**
 - MIDI 関連技術および長年にわたる規格策定・普及活動に対する取り組みが評価され、MIDI 規格およびその発展に関わる活動が「MUSIC AWARDS JAPAN 2025 ミュージックテック功労賞」として顕彰された。
 - 本表彰は、AMEI および MIDI 規格委員会が MIDI Association と連携しながら継続してきた国際的な規格策定・普及活動の成果が評価されたものであり、MIDI 規格および MIDI 2.0 の社会的意義を広く発信する機会となった。
- **MIDI MEETUP 2025 (2025/10/27)**
 - AMEI、MIDI Association、公益財団法人かけはし芸術文化振興財団の主催により MIDI/MIDI 2.0 の開発者・技術者の交流を目的としたイベントを開催した。
 - MIDI Innovation Awards 受賞デバイスの紹介、MIDI 2.0 対応製品の展示・体験、開発者による解説を実施し、約 60 名が参加した。
 - MIDI 2.0 部会長富澤氏による「MIDI 2.0 の現状と動向」プレゼンテーションを行い、来場者との活発な質疑応答が行われた。
- **東京楽器博 2025 での MIDI 2.0 セミナー (2025/11/1)**
 - AMEI および MIDI Association の共同主催により MIDI 2.0 セミナーを開催し、両 MIDI 規格団体の概要、MIDI 2.0 の最新動向、対応製品について解説した。
 - MIDI Association ブースにて、MIDI Innovation Awards 受賞デバイスの展示を行い、国内外の来場者に MIDI の魅力を訴求した。
- **NAMM 2026 (2026/1/23-1/25)**
 - MIDI Association 主催のセッション初日に MIDI 2.0 部会長富澤氏、入村氏による AMEI の存在と活動をアピールするプレゼンを実施した。

4 総括

- 令和 7 年度は、MIDI 2.0 関連規格の策定および品質向上を着実に進めるとともに、国内外の規格団体・開発者との連携、ならびに MIDI/MIDI 2.0 の普及・訴求活動を多角的に推進した。MUSIC AWARDS JAPAN 2025 での表彰、MIDI Meetup での国際的な交流を通じ、MIDI 規格の価値と AMEI の活動を幅広い層に発信することができた。今後も、MIDI 規格の発展と業界全体への浸透を目的として、継続的な規格策定および対外活動を行っていく
- **SMF2-WG**

定期ミーティングは休止中。SMF2 の API リポジトリに関する情報をグループメンバーに展開。

(3) 著作権・ソフト委員会

- ・ 著作権・ソフト委員会：委員会定例会 計 10 回
月例の定例会を通じて、情報提供・意見交換・決議を実施
- ・ 音楽配信部会：部会 計 9 回
ネットワーク音楽著作権連絡協議会（以下 NMRC）総会・世話人会（メール審議含む 1 回）、定例会（7 回）・臨時会（1 回）
- ・ ソフト規格部会：0 回
GCP-WG（0 回）、
海外ビジネス展開 WG（2 回）
- ・ カラオケ部会：部会 計 7 回
JASRAC との間で業務用通信カラオケに関する連絡協議会を開催。
(2025/5/28、7/9、8/8、10/15、11/21、2026/1/30、3/4)
- ・ 音楽電子出版部会：部会 計 7 回
定例会(7 回)

事業報告

I. 全体

- ・ ハイブリッド形式(Web+リアル会合)で定例会を実施した。

II. 各部会等

【音楽配信部会】

- ・ JASRAC 等との協議
- ① 2015 年～2020 年のストリーム按分の NexTone への支払いについて合意。
- ② JASRAC に支払い済みのストリームサービスの著作権使用料（2020 年 4 月～2026 年 3 月）の他団体利用分の返金について調整開始。
- ③ JASRAC とサブスクリプションサービスの新形態について意見交換開始。
- ④ おあずかりサービス延長依頼 1 年間の延長合意。
 - ・ その他
- ⑤ 文化審議会著作権分科会の審議動向について都度共有。
- ⑥ 生成 AI が創作した音楽コンテンツの配信について動向を調査。

【ソフト規格部会】

〈ソフト規格部会および GCP-WG（同日開催）〉

※今期は定例会の開催なし

〈海外ビジネス展開 WG〉

- ・ 2025 年 10 月 2 日に開催
海外における生成 AI 事業者に対する著作権侵害裁判のレビュー
- ・ 2026 年 3 月 18 日に開催。
アメリカ MLC での MIDI ファイルの許諾の過去経緯を共有

【カラオケ部会】

- ・ JASRAC と事業者間の業務用通信カラオケの利用許諾契約書の改定に伴う標準仕様の検討
- ・ JASRAC の業務用通信カラオケの使用料規定の協議申し入れの実施
- ・ 各著作権等管理事業者との一般社団法人著作権情報集中処理機構を活用した実務運用の検討

【音楽電子出版部会】

- ・ 音楽電子出版部会の過去の活動履歴の振り返り今後の活動計画について検討。
- ・ 使用料率および管理規定に関する諸課題について継続的に議論するとともに、音楽配信・電子出版を取り巻くサービス市場の動向調査を実施する部会としての位置付けを明確化した。

(4) 普及委員会

MIDI 検定事業

【令和 7 年度 MIDI 検定試験】

- 2 級 1 次、3 級筆記試験(12 月 7 日実施)
(一般受験はオンライン形式、団体受験は従来通り各会場にて実施)
受験者数 259(255)名(3 級)、51(59)名(2 級 1 次)
合格者数 171(158)名(3 級)、43(47)名(2 級 1 次)
- 1 級試験(8 月 8 日～18 日実施)
受験者数 20(19)名
合格者数 11(5)名
- 2 級 2 次試験(令和 8 年 2 月 14 日～16 日にオンラインにて実施)
受験者数 33(28)名
合格者数 21(13)名

【令和 7 年度指導者認定講座】

- 4 級指導者認定講座の実施
オンライン 6/1 : 5(8)名
- 3 級指導者認定講座の実施
オンライン 7/27 : 3(7)名
- 2 級指導者認定講座の実施
オンライン 9/28 : 3(6)名

※()内は昨年実績

令和7年10月からMIDI検定告知のために、X(ツイッター)を始めた。

(5) 広報委員会

- 会報「AMEI News」編集会議3回（9月11日、2月12日、3月12日）
- サステナビリティ強化対策の検討会議1回（2月12日）
- セキュリティー強化対策の検討会議1回（3月12日）

事業報告

- 会報『AMEI News』発行 3回
 - ◆ Vol.85 2025年 5月7日 発行
 - ・ 第25回NAMMビジネスツアー報告
 - ・ 普及委員会 MIDI検定試験実施結果報告
 - ・ AMEI会員名簿・令和7年度MIDI検定告知・SysExID会員募集 等
 - ◆ Vol.86 2025年 9月16日 発行
 - ・ 一般社団法人音楽電子事業協会 第14回通常総会報告、新役員紹介
 - ・ 令和7年度役員名簿・組織
 - ・ 令和7年度事業計画 委員会活動（案）
 - ・ MUSIC AWARDS JAPAN 2025 ミュージックテック功労賞を受賞
 - ・ AMEI会員名簿・令和7年度MIDI検定告知・SysExID会員募集 等
 - ◆ Vol.87 2026年 3月9日 発行
 - ・ MIDI MEETUP 2025
 - ・ 東京楽器博 2025
 - ・ サブスクリプションサービスの規定について
 - ・ AMEI 会員名簿・令和8年度MIDI検定告知 等
- AMEI ホームページ運営
 - ・ 各委員会ページ
 - ・ AMEI NEWS
 - ・ 活動報告・会員リスト
 - ・ Information
 - ・ MIDI 検定
- 情報セキュリティー確認
 - ・ 個人情報の取扱状況の確認